



式辞

木々の緑が目に見えて濃くなるとともに、生きるものすべてに生命の息吹がみなぎる希望の季節を迎えました。本日ここに、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、また、多くの保護者の皆様のご列席をいただき、平成三十年度の入学式を挙行できますことは、大きな喜びであります。高いところからではございますが、教職員を代表し、心より御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました九十一名の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を、教職員並びに在校生一同、心より歓迎します。

保護者の皆様、お子様の本校へのご入学、誠におめでとうでございます。これからの三年間、責任を持ってお預かりいたします。お子様の成長のため、時には厳しい指導を行うこともあるとは思いますが、何卒ご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本校は、明治三十六年の瀬摩郡立石東農学校設立以来、今年で百十五年を迎え、勤労・創造・仁心という三つの伝統精神を受け継いできました。平成七年度からは県内初の単独総合学科高校として、総合学科独自の特色あるキャリア教育を進めてきました。現在は、農業・ビジネス・生活・文化・福祉の五つの系列を持ち、百を超える科目を設け、生徒一人一人に応じた教育を展開しています。

また、平成二十一年度には、本校敷地内に出雲養護学校瀬摩分教室が開設され、授業や様々な行事において、両校の生徒が活発な交流を続けています。このことは、本校が推進している「高等学校における特別支援教育」の大きな原動力となっています。

さて、新入生の皆さん、私が入学者説明会で話した「心の準備」はできていますか。高校生活を最後まで有意義なものとするためには、皆さん一人一人のやる気と強い思い、そして覚悟が必要だと話しました。

高校生活は、長い人生のうちのわずか三年間ではありますが、その人の考え方や感性の基礎が形成される、かけがえのない大切な時期です。自分は何に興味があり、何が得意なのか、自分は今どういう人間で、これから先どのような人間になりたいのか、しっかりと考えてください。自分の意志を持ってください。意志を持ったら次は具体的な行動に移してください。失敗をおそれず挑戦し続けてください。成功は自信につながります。失敗は自分を強くします。私は、挑戦する姿勢の中にこそ、大きな学びと成長があると思っています。

ところで、皆さんは「やる気スイッチ」という言葉を聞いたことがありますか。某学習塾のコマーシャルソングで使われていました。では質問です。皆さんのやる気スイッチはどこにありますか。当たり前のことですが、スイッチは誰の目にも触れない、皆さん自身の心の中にあります。では、そのスイッチを押すのは誰でしょう。これも当たり前のことですが、高校生になった君たちは、自分の力で自分の心の中にあるスイッチを押さなければなりません。しかし、自分の力だけでは押せない時もあります。その時は、我々教職員や保護者も含めた大人そして仲間が、君たちの周りにいるということを思い出してください。仲間や大人の力を借りれば解決できることも、たくさんあるはずです。

一日は二十四時間、我々に与えられた時間は、誰にとっても平等です。この平等に与えられた時間をどう生きるか、その積み重ねが自分の人生そのものであり、時間をどう大切にできるかが自分の将来につながります。やる気スイッチ、言い換えれば、自分の心・感情を自分でコントロールできるよう、この三年間で様々なことを学び、自分を成長させてほしい。時には立ち止まり、振り返り、しかし常に前を見つめ、自分の進むべき道を、ここ瀬摩高校で見つけてください。

終わりに、この広い世界の中で奇跡的に出会った九十一名の皆さん、自分を大切に、周りの人を大切に、そして今しかないこの時を大切に、一人一人が充実した高校生活を送ってくれることを祈念して、式辞といたします。